

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 27 日 (18 : 30～20 : 30)
平成 27 年 12 月 22 日 (18 : 30～20 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー (常勤) 山中 小島 畑佐 堤 川野 竹村
(非常勤) 入本 丸山 大橋 寺田 坂本 鈴木 (中村 小村)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	6	4	1	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	6	5	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	8	2	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	6	4	1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ 来所時や慣れていない時期に声掛けし少しでも馴染めるようにしている。・ 管理者、ケアマネから情報がある。・ 朝礼や月 1 回会議をすることでサービスの内容や情報の共有を全体でしている。・ 情報を共有できるファイルがある。・ サービス担当者会議の内容を回覧し公開している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ 利用開始のタイミングで会議等で基本情報等を話せていない。・ 同じサービスをするための手順ができていない。スタッフ全員に伝えられていない。・ 朝礼や会議に参加できていないスタッフとの情報共有。・ 家族、介護者とは余り関わりがない。・ スタッフ会議になかなか参加できない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">・ 新規利用契約後、朝礼で 3 日程度基本情報を伝えスタッフ全員が情報共有できるようにする。利用当日にも注意点等を伝える。・ 送迎時に家族さんと挨拶、会話を持つことで関係性を高める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 27 日 (18 : 30～20 : 30)
平成 27 年 12 月 22 日 (18 : 30～20 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー (常勤) 山中 小島 畑佐 堤 川野 竹村
(非常勤) 入本 丸山 大橋 寺田 坂本 鈴木 (中村 小村)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		5	4	3	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	5	3	3	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		5	4	3	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		4	4	4	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人からニーズや要望を聞いた時は皆で情報を共有し何が必要か、また家族の協力の有無などを話し合っている。 ・その方を観察し、今何を提供すれば良いかを考えながら関わっている。 ・在宅生活が続けられる関わり。 ・アセスメントをし本人の声にならない声を代弁した時がある。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・目標に対して漠然とした関わりはできているが具体的な目標を知りながら日々の関わりができていない。 ・長期目標や短期目標をチーム全員が知っておらず何を目的に支援を行っているか根拠が見いだせていない。 ・目の前の処置、出来事への対応のみで本人の目標に沿った支援ができているかわからない。 ・本人が「したいだろう」と思っているだけで、目標の確認ができていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ会議で区分変更時、更新時のサポートプランを伝えプランの共有をはかる。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 27 日 (18 : 30～20 : 30)
平成 27 年 12 月 22 日 (18 : 30～20 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー (常勤) 山中 小島 畑佐 堤 川野 竹村
(非常勤) 入本 丸山 大橋 寺田 坂本 鈴木 (中村 小村)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	大	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?			7	5	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	6	1		12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		4	7	1	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	9	1		12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	7	2	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・変化に気づいた時は電話、訪問、来所時に聞き取っている。 ・本人の変化に気づいた時は必ずリーダーや他スタッフに伝えている。 ・体調や食事、入浴、排せつ等スタッフ同士でやりとりできている。 ・変化に気づくと業務日誌、ケース記録や連絡帳に記載をし情報共有できるようにしている。ケース記録を見ることにより状況を理解し対応できている。 ・食事、入浴、排せつ方法は本人に合わせた介護技術で行えている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用されるまでの在宅生活、環境などすべて把握できていない。 ・以前の暮らし方は10個以上の把握はできていない。 ・利用者の変化に気づいたとしても口頭で共有することも多く記録に残す意識が低い。 ・訪問に行っていない為自宅での様子が把握できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者勉強会を行い情報共有を行う。 ・ケース記録を書く意識を持つ。(ケース記録を書きやすいようにファイルの工夫(名前別にファイルを分ける)をする) 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 27 日 (18 : 30～20 : 30)
平成 27 年 12 月 22 日 (18 : 30～20 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー (常勤) 山中 小島 畑佐 堤 川野 竹村
(非常勤) 入本 丸山 大橋 寺田 坂本 鈴木 (中村 小村)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		3	7	2	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		6	3	3	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	7	1	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	5	4	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族から聞き取れることは聞き取っている。利用者に家に居る時はどうしているか等話している。 ・本人と介護者、地域との関係が悪くならないように挨拶や声かけを行っている。 ・SOSネットワークの活用。 ・本人と家族との関係について気を付けてみている。家族にできることは支援してもらっている。 ・地域の中で暮らしていけるよう地域での行事に参加している。事業所が交流の場になることもある。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者全員の生活スタイル、人間関係はわかっていない。 ・1 人暮らしの方がどこに出かけているか把握できていない。 ・地域の資源等がわからない ・本人、家族から民生委員やご近所との付き合いをしていないからと断られる場合が多々ある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時等、利用者宅近所の方に出会えば挨拶を行う。情報が得られるかもしれない。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 27 日 (18 : 30~20 : 30)
平成 27 年 12 月 22 日 (18 : 30~20 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー (常勤) 山中 小島 畑佐 堤 川野 竹村
(非常勤) 入本 丸山 大橋 寺田 坂本 鈴木 (中村 小村)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	4	2	2	2	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	3	1	1	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	5	3	1	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	7	2		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼や会議、業務日誌で情報が得られる ・地域の方がボランティアに来てくださったりする。 ・本人のニーズに合わせたサービスが提供されている。 ・本人の状態の変化に気づき訪問対応やサービスが適切なものに変更されている。 ・急な宿泊の時でも柔軟な対応ができています。一人一人に合わせた時間の受け入れや延長も行っている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・業務日誌や朝礼で伝えているが十分に伝わってなかったり読んでもらえていないことがある。 ・サロン等地域資源の活用不足 ・送迎や訪問等でスタッフの出入りがあるのでミーティングの時間がとれない。 ・訪問時の様子が共有できない。訪問内容が日々変わる方もおられるので把握できない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問内容が変わった時に早期訪問マニュアルの見直し、変更を行う。 ・訪問記録を密に記入し、訪問時の情報を共有するために訪問者がリーダーに報告。業務日誌への記入の有無をリーダーが判断し訪問者が業務日誌にも記入する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 27 日 (18 : 30～20 : 30)
平成 27 年 12 月 22 日 (18 : 30～20 : 30)

6. 連携・協働

メンバー (常勤) 山中 小島 畑佐 堤 川野 竹村
(非常勤) 入本 丸山 大橋 寺田 坂本 鈴木 (中村 小村)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	5	2		1	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	3		1	6
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	4	5	2		11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	6	5			11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に係る関連機関とは密接に連携を図りサービス担当者会議を開催している。 ・医療と福祉の見える関係、松原地域包括支援センターの会議にも出席している。 ・地域の方も来られるバイキングを開催している。 ・百歳体操、ふれあい祭りに参加している。地域の方がボランティアに来て下さったりする。 ・町内の消防訓練、草刈り、溝掃除に参加している。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所での消防訓練に地域の方の参加がない ・100歳体操には限られた利用者しか参加できていない。 ・会議の内容がスタッフにはあまりわからない。 ・子どもが気軽に立ち寄れるといい。 ・参加している活動が把握できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の消防訓練に地域の方も参加して頂けるようお願いする。 ・会議資料の回覧を行う。 ・子ども100当番の家になれるようPTAをお願いする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 27 日 (18 : 30～20 : 30)
平成 27 年 12 月 22 日 (18 : 30～20 : 30)

7. 運営

メンバー (常勤) 山中 小島 畑佐 堤 川野 竹村
(非常勤) 入本 丸山 大橋 寺田 坂本 鈴木 (中村 小村)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	4	3	2	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6	2		10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	4	2	1	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	5	2		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・苦情を受け止めている。事業所としての方針を利用者、家族に伝えている。 ・意見、苦情はすぐに伝えている。伝えた内容は反映できている。スタッフも共有している。 ・バイキングを行ったり、何かと地域の方に呼びかけを行い意見が言いやすい環境を作っている。 ・運営推進会議を行っている。 ・地域の方向けの介護教室を行った。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・家族会、家族介護教室。 ・意見や苦情を個人として把握できておらず取り組めていない。 ・意見を言う場はあるが本音が話せていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の報告を行うことにより地域の方の思い等を共有する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 27 日 (18 : 30～20 : 30)
平成 27 年 12 月 22 日 (18 : 30～20 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー (常勤) 山中 小島 畑佐 堤 川野 竹村
(非常勤) 入本 丸山 大橋 寺田 坂本 鈴木 (中村 小村)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	5	3	1	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	4	4	2	12
③	地域連絡会に参加していますか		3	1	4	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		5	6	1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 積極的に参加できている ヒヤリハットは自分自身にも起こることとして考え事故とならないように気を付けている。 質の向上の為、介助方法の指導などがある。 スタッフも増え研修 (内・外) を行う機会が増えた。 スタッフの要望を聴き研修を実施、参加している。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 研修に参加する人のばらつきがある。 ヒヤリハットを積極的に記録に残せていない。 外部研修で学んだことを伝達できていない。 時間、家庭の都合で研修に参加できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリを見つけたり、気づけば積極的に記録に残す。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 27 日 (18 : 30～20 : 30)
平成 27 年 12 月 22 日 (18 : 30～20 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー (常勤) 山中 小島 畑佐 堤 川野 竹村
(非常勤) 入本 丸山 大橋 寺田 坂本 鈴木 (中村 小村)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	2			12
②	虐待は行われていない	10	2			12
③	プライバシーが守られている	6	5	1		12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	3			8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	5	1		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・家族から拘束してもよいと聞くが事業所ではしていない。 ・本人を大切に自分自身に立場をかえて考えて行動している。言葉遣いに気を付けている。 ・この事業所は人権やプライバシーをしっかりと守れている。 ・個人ファイルより情報を収集する時は事務所で行っている。 ・利用者が席を立たれてもすぐに声をかけず対応ができる距離で見守り、一呼吸おいてから声をかける。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報を利用者が知っている時がある。 ・時々「ちょっと待って」と言ってしまう時がある。 ・居室のドアを全開にしてしまったり、トイレのカーテンをせずにドアを開けてしまうことがあった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・トイレのカーテン、ひざ掛けの使用方の指導を行い周知徹底を行う。(12 / 22 済) ・入浴時の着替え、紙パンツ、パッドはバスタオルに巻き目にふれないように持ち運ぶ。 	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	NPO法人 宅老所 心	代表者	村田 美穂子	法人・ 事業所 の特徴	利用者と地域の方がふれあいを持てるように、また地域の方に事業所のことを知ってもらい、気軽に寄って頂けるよう年3回の昼食バイキングを行っている。 地域の方がお話し相手、掃除、編み物等のボランティアに来て頂いている。 スタッフがオリジナルゲームを考え利用者と一緒に楽しんでいる、笑顔が絶えない事業所です。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護事業所こころね	管理者	山中 一矢		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	人	人	1人	人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			・自己評価の発信者の名前がわからない。	・発信者がわかるように名前を記入する。
B. 事業所のしつらえ・環境			・普段は用事がないのに入れない ・地域用の部屋があればいい。 ・入りやすい工夫でバイキングを行っているが年に3回でいいか。	・普段でもコーヒーを飲みに来て頂いている地域の方もおられるが、バイキング等でも気軽に立ち寄って頂けるよう声かけをする。
C. 事業所と地域のかかわり			・町内で車の運転中にすれ違っても会釈しない人がいる。 ・困りごとの相談をできることを便りに載せてはどうか。 ・桜の木の下での草刈り、溝掃除にスタッフが参加している。	・挨拶について再度、指導する。(よそ見には気を付ける) ・こころね便りに困りごと相談ができることを載せる。 ・認知症何でも相談所のPRも載せる。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			・地域ボランティア喜楽会の行事に利用者とスタッフも手伝いで参加しているが地域の行事ではない。	・地域の行事で参加できる行事には参加していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み			・議事録が事業所内の掲示のみで推進会のメンバーに配られていない。	・議事録の配布を行う。
F. 事業所の防災・災害対策			・消防計画はあるが防災計画がない。 ・事業所消防訓練に地域の方が参加していない。 ・AEDを設置してほしい。	・地域の方に消防訓練の参加協力をお願いします。 ・AEDについては設置方向で検討する。

